★かがやく子アンケート　結果について

１２月上旬に行いました「かがやく子アンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

昨年度に続き、電子申請システムを利用してご回答いただいておりますが、全児童数での回答率が、昨年度の５４％に対して今年度は５７％と、わずかながら高い結果となりました。これは、少しずつ回答方法やアンケートの重要性についてのご理解が保護者の皆様に浸透しつつあると捉えております。本アンケートは、学校運営について保護者の皆様のお考えを知るたいへん重要なものです。次年度かがやく子アンケート実施の際には、引き続き貴重なご回答を賜りますようお願い申し上げます。

No. 2「学校では、教科分担制に取り組んでいます。各教科担当が指導する授業体制に、学習効果があると思いますか。」

学校では、子ども一人一人の学習内容の理解度・定着度の向上を目指して教科分担制に取り組んできました。教師側の観点としては、クラスの枠を越えた多面的な児童理解やより専門性の高い授業の質の向上につなげることができました。また、６年生の児童に関しては、中学校の教科担任制による学習スタイルに順応しやすいといった点で小中学校間の円滑な接続に繋げていけることも期待できます。

次年度以降も全学年における計画的な実施と、よりきめ細やかな指導を実践していくために、子どもの成長段階に応じて、教科分担制の体制と低学年における実施（開始）時期に考慮して続けて参ります。

No.5「学校では、朝のあいさつ運動に取り組んでいます。お子さんは、家の外に出たとき、自分から進んであいさつしていますか。」

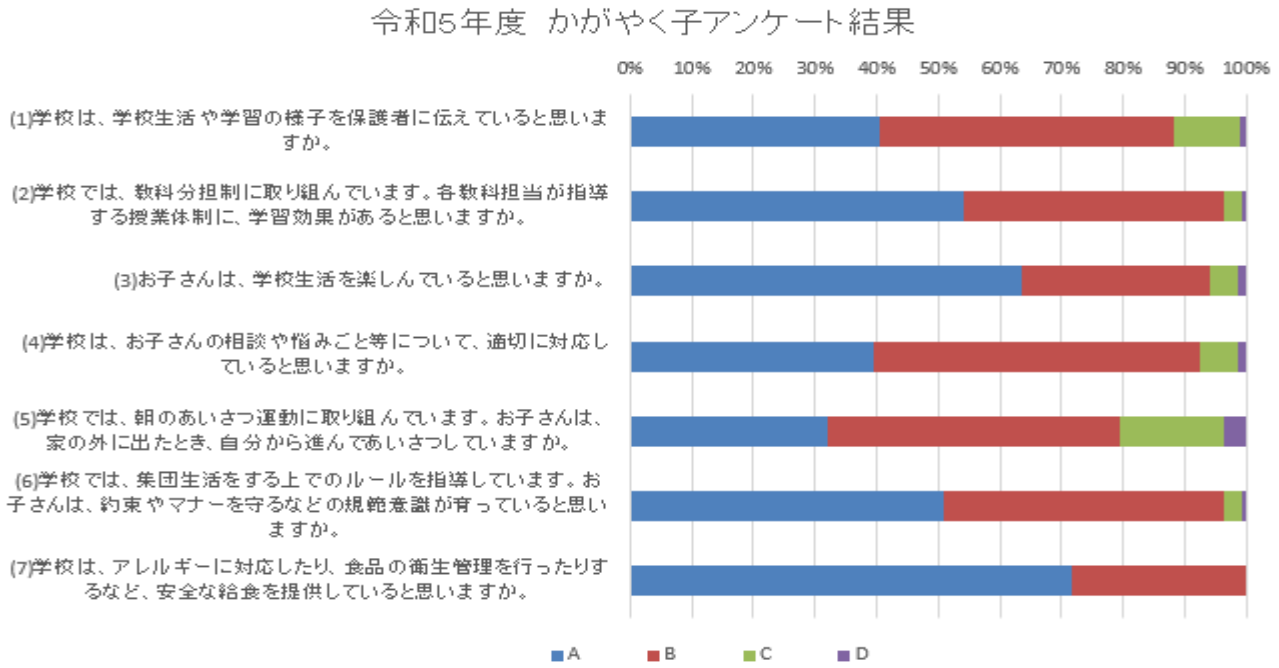
学校では、日頃から５・６年生の委員会の児童が、登校して来る児童にあいさつの声かけをしていますが、今年度は代表委員会での話し合いにより、ペア学年の児童が一緒に「朝のあいさつ活動（あいさつし隊）」も行いました。

普段のペア活動は遊びを通した交流が中心ですが、朝のあいさつ活動では、より良い学校生活を目指して声や気持ちを合わせて全校にあいさつの良さを伝えることができました。全学年で取り組んだことで、自然なあいさつのやり取りが校内に広がりました。

このようなあいさつの声が地域からも聞こえるよう、保護者の皆様にもご協力頂けると幸いです。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

アンケート結果を以下のグラフにまとめましたので、ご確認ください。また、この結果を学校として校内の各部会でさらに検討し、来年度の教育活動に生かして参ります。



Ａ：そう思う Ｂ：どちらかというとそう思う Ｃ：どちらかというとそう思わない Ｄ：そう思わない